

あなたのまんまとわたしのまんまが会う場所

地域共生社会の実現に向けて、奈良市社会福祉協議会が地域の皆さまと一緒に作り上げたコミュニティスペースまんまの取組を冊子にまとめました。まんま本を通じて、「近所にこんな居場所があったらいいな。」を一緒に考えましょう。

「まんま本」完成しました!

あなたのまんまとわたしのまんまが会うところ~まんま

この度、奈良市社会福祉協議会が地域共生社会の実現に向けた先行事例として取り組んできた、コミュニティスペースまんまでの5年間の取り組みを、本にまとめました。

一冊500円で
販売中!!

まんまって? どんなところ??

コミュニティスペースまんまは、富雄団地の中にあります。誰もが好きな時に来て、思いのままに過ごせる場所、そんな居場所です。

わたしがしたいから
(主体性)

ごちゃ混ぜがいい
(多様性)

〇〇×〇〇の三人三脚で
(協働)



立場の違う人たちが一緒にするからこそ、お互いの得意なことを活かしてあえるんです。地域のおばちゃん×地域のワカモノ×福祉専門職で力合わせて



この人の得意な事、その人の癖、あの人の考え方...ちがいと出会える場



私にできることを、自分のペースで
ぼちぼち楽しく...

いいばしょプロジェクトって?

いいばしょプロジェクトは、福祉の関係者だけでなく、地域の方々やいろんな団体の方と一緒に、ありのまんまの姿で自然にゆるやかにつながれる居場所を広げていくプロジェクトのことです。

「近所にこんな場があったらいいな」「あんな居場所をつくってみたい!」あなたのそんな「心」の声を聞かせてください。



この本に込めた思いを、一緒に本を作った編集者である大越はじめさんに聞きました。

地域のみなさんや市社協のみなさんの6年間から、まんま本が生まれました。本をつくりながら、たくさん話し合いましたね。

「主役は地域のみなさん」「表紙をみんなでつくろう」「まんまらしい紙は?」「あの人も話を聞いてほしい、あ、この人も!」「わたしね...」「この気持ちはどうしたら伝わるかな」「書き直そう。自分の親に届ける気持ちで」「ごめん!もう一度話聞かせてもらえる?」「撮ります~今年いちばんの笑顔で!」「あの人の写っている写真に差し替えたいです」「もうこんな時間!」「掲載OK!」「つながることも大切、一人でいられることも大切」「どうしても、あなたに登場してほしい」「あなたとわたしは違うから面白いね」

話し合いのたびに一度おけるまんま本は、いつまでもつくり続けていたくなる一冊でした。この紙の束は、あなたに読んでいただき、初めて本になります。ぜひ一読ください!そして、居場所をはじめる一歩になれたらいいな。実は、わたしも奈良市内で自宅兼事務所を地域のみなさんに開放しています。



まんま本と一緒につくった奈良の編集者 大越はじめさん

⇒居場所づくりやまんま本についてのお問い合わせはこちらまで
奈良市社会福祉協議会鳥見ふらっと“まんま”
電話: 0742-93-3741 MAIL: ongaku@silver.ocn.ne.jp